

【Ⅰ 若者が主催】

Gallery CASE 事業詳細

事業名	「ウラコクラ」の写真家とまわるフォトウォークと写真展		交付決定額	210,000円	
趣旨・目的	・北九州で写真を撮っている市民(特に若者)を対象に、北九州市在住の若手写真家の写真集「ウラコクラ」の世界観を体感してもらうフォトウォークを通して、北九州の魅力を再発見してもらいたい。 ・写真を撮った後のフィードバックからより深く写真の知識や技術を学べる。 ・ギャラリーに展示された写真を鑑賞するという体験を通して、アートをもっと身近に感じてもらいたい。				
実施内容	演目・曲目等				
	フォトウォークでは前半は写真家と一緒にまわりながら撮影をしたり、説明を聞きながら参加者も撮影する。後半はそれぞれが小倉の街を歩いて好きな写真を撮影する。撮影後はGallery CASEに集合して、撮影データを提出し、セレクトし、フィードバックを行う。セレクトした写真はプリントし翌週、展示する。				
実施内容	構成・出演者・主なスタッフ等 / 展示作品の種類・点数、主な作品名・出品者名等				
	1、フォトウォークの前に「ウラコクラ」の生まれた背景や撮影の注意事項等のレクチャーを受ける。 2、小倉の街中を撮影する。 3、ギャラリーに戻り、データを提出し、参加者全員でフィードバックを行う。 4、写真をセレクトし、キャプションを考える。 5、写真をプリントし翌週に展示を行う。 主なスタッフ 写真家 加瀬息吹と運営スタッフ2名				
実施日時	フォトウォーク実施2025/11/8 写真展開催2025/11/15～11/16		実施回数	1回	
実施会場 (会場住所)	Gallery CASE (北九州市小倉北区京町1-5-15 2階)		参加人数	フォトウォーク参加22名 展示鑑賞者 約160名	
実施の成果	助成金活用による工夫や実施の成果				
	Gallery CASEは芸術支援のワークショップはできるだけ無料で開催しています。助成金をいただくことで、市民の皆さまにより質の高い芸術体験をしていただくことができました。今回のフォトウォークでは、プロの方から初心者の方までそれぞれが撮った小倉の街の写真を撮影し、フィードバックや展示を通して「今まで気づかなかった街の横顔」を発見することができたと思います。また写真展の観覧はたくさんの方々にお越しいただき、写真を通して、あらためて街の良さや、これからも残していきたい風景の大切さを感じていただけたと思います。今後も写真を通してワークショップやフォトウォークを開催したいと思います。デジタルカメラを持っていない若者のためにも、引き続きスマートフォンでも参加できるイベントを行いたいと思います。				
実施の成果	活動の様子				
	<div></div>				
最も注力した年齢層(計画)	18～39歳	参加者等の主な年齢層(実績)	18～39歳		
(共催・後援・協賛関係機関がある場合)名称と役割					
その他特記事項					